

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】 / (分野)		授業形式					
E142N007		学習英文法 (English Grammar)							対面					
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態						
必修	2	2	教育学部 ≪令和2年度 以降入学生用 ≫	後期	月5	日本語	英語	単独						
担当教員	氏名 橋本 美喜男													
	E-mail mikioha@oita-u.ac.jp 内線 7578													
授業の概要	前期で学習した「英語学Ⅰ」の学習内容を踏まえて、さらに英語の統語的・意味的特性の理解を学生は深める。													
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7
目標1 英語の基礎的な文法力を学生は身につける。								○	○					
目標2														
目標3														
目標4														
目標5														
目標6														
目標7														
目標8														
目標9														
目標10														
各DPへの関連度 (計10)								6	4					
授業の内容														
1 前置詞の機能について at, in, onの基本的用法														
2 前置詞の目的語 from, to, forの基本的用法														
3 前置詞 by, of, withの基本的用法														
4 形容詞, 数量詞, 副詞について														
5 形容詞の制限用法と非制限用法 配列順序 意味から見た下位分類														
6 比較構文 原級, 比較級, 最上級 形容詞と副詞の比較変化														
7 同等比較, 優勢比較, 劣勢比較, 比例比較, 漸層比較など														
8 ラテン語系の比較表現 倍数表現など														
9 否定文の特徴 否定辞の種類 文否定と構成素否定														
10 全体否定と部分否定 否定辞編入, 否定辞上昇など														
11 否定の作用域と焦点 主語・助動詞倒置 肯定的onlyと否定的only														
12 語の構造について 異形態														
13 語形成 転換, 逆成, 短縮など														
14 所有格について														
15 まとめと復習														
ラーニングポイント	A:知識の定着・確認	○	学生は, 関連する課題に取り組む。				工夫その他の	調べ学習を行う。						
	B:意見の表現・交換	○												
	C:応用志向													
	D:知識の活用・創造													
授業時間外学修の内容と想定時間	準備学修	小学校や中学校で使用される教科書の中で, 英語の語法や文法について疑問点等をあらかじめ考えさせ, 授業でレポートしてもらう。(20h)												
	事後学修	疑問点等について, さらに調査をさせ, より深い理解を身につけさせる。(25h)												
	想定時間合計	45												
教科書	Moodleを通してプリント等を配布する。													
参考書	授業中に紹介する。													

成績 評価 の 方法 及 び 評 価 割 合	評価方法		割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5	目標 6	目標 7	目標 8	目標 9	目標 10
	毎回の授業中の課題		40%	○									
	最終レポート		60%	○									
注意事項													
備考		Moodleで出席を取り，課題をしてもらうので，パソコンまたはスマホが必要です。											
リンク													
		URL											